



八中だより



第17号
令和5年12月25日
府中市立
府中第八中学校

『インスペクションと戦略』（終業式の話）

校長 高汐 康浩

『戦略』という言葉からどんなことをイメージしますか。スポーツの試合などに勝つためのいろいろな作戦などをイメージした人がいるかもしれませんが。今日お話しする『戦略』は、スポーツの試合だけでなく、何かを行うときの目標を実現するための『自分で考え出した、やらなければいけないこと』と捉えてください。

はじめに、ある生徒のエピソードを紹介いたします。その生徒は『都立高校の推薦入試に合格する』という目標を実現するためにいくつかの作戦を考えました。作戦を立てる上で特に着目したのは、受験する都立A高校全日制普通科の『本校の期待する生徒の姿』の中の『※特に推薦選抜においては、…』の部分でした。そこには『表現力に優れ』という文言（もんごん）がありました。その生徒のもっとも得意とすることは歌唱（かしよう）で表現することだったので、何とか面接の中でその部分を發揮することができないかを考えました。そして、面接の場面で自分の作戦を実行しました。入試の結果は『合格』でした。次にお話ししたいことは、私の『駅伝大会での作戦』について少し詳しくお話ししたいと思います。インスペクション（英語 inspection）という言葉を知ったことはありますか。その言葉には調査、下見、視察など実際その場所で調べて確認するという意味があります。スポーツではアルペンスキーの競技で使われる言葉です。スキーをしていた私にとって、とてもなじみのある言葉です。私は何かを行うときにはこのインスペクションをとっても大切に考えます。新型コロナウイルスが流行（はや）る前までは、毎年、駅伝大会に出場していました。私の目標は誰かと競うことよりも『区間のタイムを縮め順位を前年度よりも上げてチームに少しでも貢献すること』でした。四年前の大会の結果は、タイムをかなり縮めることができ、区間順位八位を達成することができました。それでは、駅伝大会で、どのようにインスペクションを行い、作戦を実行したのかをお話しします。駅伝のコースは事前に分かっています。スタートからゴールまでの最短距離を走ろうと思えば、距離の測定ができる地図アプリで最短距離を探し出しました。



（在籍生徒数） 一年生248名、二年生261名、三年生241名
全校生徒数750名
（学校住所・電話番号）
〒183-0035 府中市四谷一丁目二八二七
電話 〇四二（三六四）一八八一
★保護者の方から「学校だよりを楽しく読んでいます。」というメッセージが届きました。ありがとうございました。

コースの真ん中を走る場合と最短距離を走る場合では、その差が約百メートル以上あることを発見しました。私の場合、1kmを四分十五秒位で走りますので、単純計算すると百メートル分の二十五秒位のタイムを縮めることができます。駅伝大会では作戦の通り、できるだけ最短距離を走り、順位を上げることができたのです。

本校の教育目標には、「すすんで学ぶ」ことが第一番目に示されています。「学び」で特に重要なことの一つに「見方・考え方を鍛える」ということがあります。なぜ、そのように見たのか、考えたのかという根拠や理由をしっかりとつことが大切であり、根拠や理由を整理するうえで大事なことが『インスペクション』であると思っています。「根拠や理由」を整えるためのヒントは、学校の教科の学習はもちろん、自分ですすんで行う読書であったり、調べ物であったり日常での学びにあります。中学生時代には鍛えた「見方・考え方」は100%将来に役立ちます。中学生時代は一生で一度だけです。たくさんそのことを吸収し、自分の将来に役立つ力を身に着ける絶好のときであるということ、この冬休みにじっくりと考えてみましょう。



《保護者の皆様、地域の皆様へ》
今学期も教育活動へのご支援、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。あわせて、「八中だより」への感想も多数いただき、重ねてお礼を申し上げます。

さて、今学期も、保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様とともに、教育活動や学校行事など行ってまいりました。さまざまな場面でご支援、ご協力をいただいたことに心から感謝申し上げます。来学期も「安全」を第一に、より充実した教育活動を行ってまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

明日から冬休みです。各家庭におかれましては、ぜひ、お子様とともに今学期を振り返る中で、学校生活における出来事などについて、お子様からできるだけ多くの話を聞いていただければと思います。そして、何かお子様について心配なことがあれば、いつでも、どんなことでも学校に御相談くださるようお願いいたします。

第81回生徒会リーダー研修会に参加!

Topics

● **■素晴らしい!保健委員会の学校安全の取組** □
 本校の階段には歩行者の衝突や接触防止の『矢印』があります。保健委員の皆さんが設置しました。学校の安全管理を充実させるためには、生徒の皆さんの参加がとても重要です。

● **■年少対主催の凧作り、凧あげ実施** □
 本校で地域の小学生の皆さんを招いて凧作りと凧あげを行いました。中学生の皆さんが参加した小学生の皆さんにやさしく丁寧に教えました。その後、皆で楽しく凧あげを行いました。

『市制70周年の機運醸成に向けた取組から学校と地域が連携して「よりよい府中市」を目指す』をテーマに市内の中学校の生徒会リーダーが府中六中を集まり研修を行いました。参加した生徒の皆さんにインタビューをしました。(インタビュー順に紹介)

★鈴木愛果 会長
 『市役所の方々のお話を聞いて府中のことについてより知ることができてよかったですと思っています。』

★宮西くるみ 副会長
 『商店街などを担当する推進課の方のお話を聞いて、商店街が減っていることが問題になっていくことを知りました。』

★塚本みお 役員
 『公園緑地課の方のお話を伺いました。文化センターでゴミ袋をもらうことができ、自分で美化活動ができることを知りました。』

★谷川郁莉 役員
 『グループ活動で他の学校の活動を知ることができてよかったですと思っています。』

★川村暁生 役員
 『図書室の活用活性化など、他校の取組がとても参考になりました。』

★牛込光志朗 副会長
 『他校の節電の取組から、電気料金を明らかにして呼びかけを行っていることを知りました。このことは、とても参考になりました。』



シリーズ

ふるさと府中を学ぶ

『♪年のはじめのためしとて終わりなき世のめでたさを松竹たてて門(かど)ごとに...』お正月のテレビ番組などでよく流れる曲です。その歌詞は「家ごとに門松(かどまつ)をたててお祝いをする」という内容です。

さて、府中の大國魂神社の七不思議のひとつに、神社境内には松の木が一本もなく、また植樹してもすぐに枯れてしまうという言い伝えがあることを知っていますか。これは、神様がまだ現世の神として散歩しているときの話です。大國様と八幡様が、「どうだい、大國さん、二人で武蔵野の野原に行こう」ということで出かけたものの暗くなっても宿が見当たりません。そのうち八幡様は「ここで待っている、俺が宿を捜してくる」と言って出かけましたが帰ってきません。待ちぼうけをうけた大國様は、「まつはうい(※)ものつらいもの」「まつは大嫌いだ、まつのはいやだ」と言ったそうです。ここから、大國魂神社では「待つ」を「松」にたとえて、植物の松を嫌うようになったのだと言い、今でも境内には松の木は一本もなく、植えてもすぐに枯れてしまうと言われているそうです。また、府中では正月の門松にも松を使わない習慣が残っているのだそうです。

(※「うい」...苦しい)



『武蔵府中郷土かるた』の画像の使用については、府中市ふるさと文化財課の許可をいただいています。

お矢がせ 活躍する八中生

[敬称略]

- ★令和五年度中学生の「税についての作文」表彰★
 教育委員会優秀賞「税金が命を救う」小川 倫央
- ★卓球部★
 中央大学杯
 男子優勝
 松平 昌大 浅倉 陽和太
 和田 塔矢 嶺川 英志
 石川 蓮真 岡部 翔之介
- ★バドミントン部★
 地区冬季大会 女子シングルス
 第三位 向井 咲菜

思春期は、心身ともに大きく成長する時期だからこそ、悩みをもつことが多くあります。悩みを抱えてしまっているときに、相談できる相談窓口はたくさんありますので安心してください。「不安や悩みがあるときは：一人で悩まず、相談しよう」と「TOKYOほっとアクセスして活用してください」。

